

1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
7月	平均気温 (°C)	22.2	23.1	22.4	24.6	23.1	25.1	22.6	24.3	月間平年比-1.7°C (低)
7月	降水量 (mm)	115.5	76.2	94.0	37.7	52.5	51.5	275.5	165.4	月間平年比 167% (極多)
7月	日照量 (h)	19.7	45.6	25.2	63.0	22.4	73.0	67.3	181.6	月間平年比 37% (極少)

- 6月特記：真夏日 8 多雨 38.0 mm(6/19) 梅雨入り 6/11 (昨年比+4)
- 7月特記：真夏日 3 豪雨 52.5 mm (7/8) 59.0 mm (7/15) 雨量 10 mm以上 9日 関東甲信梅雨明け 8/1 頃 (過去 10 年で最も遅い)
- 上旬 (平年比)：気温 (並) -0.9°C、降水量 (極多) 152%、日照量 (極少) 43%
- 中旬 (平年比)：気温 (低) -2.2°C、降水量 (極多) 249%、日照量 (極少) 40%
- 下旬 (平年比)：気温 (低) -2.0°C、降水量 (並) 102%、日照量 (極少) 31%
- 月間 (平年比)：気温 (低) -1.7°C、降水量 (極多) 167%、日照量 (極少) 37%



2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【生産特記 2020】

- ① 生産基盤 (推定)：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 85ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 9ha・柿 6ha・プラム 40ha
- ② 生育経過：4月低温で過去にない生育遅滞。満開は平年並。5月少雨・干ばつで樹勢衰弱顕著。6月の高温で生育前進化。
- ③ 満開：巨峰 6/9 シャイン 6/13 柿 6/2 キウイ F6/9 *昨年並み
- ④ 収穫開始見込①：大石 6/25、紅りょうぜん 7/9、菅中 7/13、サマーE7/24、貴陽 7/28、太陽 8/6、秋姫 8/24
- ⑤ 収穫開始見込②たまき 7/10、あかつき 7/27、なつっこ 8/6、川中島 8/24、黄金桃 8/27、白根 9/10、GP9/15
- ⑥ 収穫開始見込③：南水 9/10、ラフ 9/28-10-4、秋映 10/1、スイート 10/10、ゴールド 10/20、ぐんま名月 11/1、百年ふじ 11/10
- ⑦ 多雨 低日照に影響で、プラム・もも等の糖度不足や葉の黄変落葉等発生。光合成不足による花芽形成不良が懸念される。
- ⑧ プラム：凍害により結実不良 (大石昨対 60%)。サビ果・かいよう病被害散見。7月～裂果発生。肥大良好。果肉先行。
- ⑨ もも：生産量は昨年並見込み (川中島のやや結実悪い)。収穫は昨年比 7日早い。肥大良好。早生種で裂果多い。糖度平均 11%台。
- ⑩ りんご：生産量昨対 110%見込み。6月から果面サビ多発 (霜等の影響)。秋映等はサビ率非常に高い。果実肥大良好。
- ⑪ ナシ類：生産量昨対南水 100%・ラフ 90% (面積減あり) サビ発生あるが、果実品質・肥大良好。
- ⑫ ぶどう：粒肥大良好であるが、バラツキ大きい。シャイン M 未開花は少ない。摘芯等実施し園地内の明るさ確保必要。
- ⑬ 柿・キウイ F：柿の結実量は平年並～多。6月下旬頃キウイ F フルメット処理実施。葉等に低温被害発生。

【2020 病害虫対策】

- ① 共通：梅雨の多雨で腐敗性病害感染拡大恐れあり。カメムシ・クビアカスカシバ・ハダニ類被害多発中。
- ② 腐らん病：5月以降枝腐らん病発生非常に多い。梅雨期間感染拡大中。
- ③ 黒星病：果実被害率 1.10% (2年連続小発)。被害葉発生率 55%。新梢葉の被害が多い園地は秋季の 10日間隔の徹底必要。
- ④ せん孔細菌病：5月上旬～春型枝病斑 (多発)、5月中下旬～葉病斑発生、6/10 前後～果実被害発生。7月末では果実被害が昨年より少ない状況 (細かい斑点被害多い傾向)。
- ⑤ 黒斑病：プラムで発生。6月頃感染→7月～病斑散見。薬液到達不足部分で発生日立つ。
- ⑥ 黒とう病：シャイン M で6月上旬から葉・軸部病斑発生。6月中旬頃感染→7月に入り発生日立つ。
- ⑦ うどんこ病：5月の高温・乾燥により発生。もも等では果実被害散見。りんごでは被害枝散見中。全体では小発生。
- ⑧ 主幹害虫：粗皮削りの実施とラビキラー乳剤等の丁寧な散布実施。産卵前の散布を重点とする。
- ⑨ ハダニ類：6月下旬から早期発生 (ナミハダニ中心)。7月上旬の産卵数も多い。7月末の発生はなし。お盆前発生ピーク見込み。
- ⑩ シンクイムシ類：第 1 世代発生ピークは7月初旬頃 (食入被害他)。第 2 世代の発生ピークは梅雨明け後～7月末頃。
- ⑪ カスミカメムシ：5月大型連休中から展葉後のシャイン M 等に加害有。6月の房吸汁被害も発生。
- ⑫ カメムシ類：全体で被害多発。過去 5 年では最も多い発生量。6月の産卵数も多。8月末までの断続発生懸念される。
- ⑬ コガネムシ類：もも・プラム等で大きな食害あり。



黒星病新梢葉病斑 (6月)



黒星病果実被害 (6月)



枝腐らん病 (6月)



プラム黒斑病 (かいよう病) (7月)



スモモヒメシンクイ被害果 (7月)



もも縦裂傷果 (7月)